

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦

申第3号

「JR 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」に関する解明申し入れを提出する！

横浜地本は、2025年11月19日に地方提案「JR 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」提案を受けました。今回の施策は、社員の働き方や将来設計に大きな変化を与える内容です。職場では社員説明会が開催される一方で、いまだ不透明な内容が多くあり、組合員・社員からは施策に対する疑問や不満、将来への不安の声が寄せられています。この観点から申第3号として1月15日に解明申し入れを提出いたしました。

1. 事業本部の設置について

- (1) 川崎・横浜・湘南伊豆の3つの事業本部とする根拠を明らかにすること。
- (2) 各事業本部における拠点の所在地を明らかにすること。
- (3) 「一事業本部を一事業場とする」ことの認定結果を明らかにすること。
- (4) 川崎・横浜・湘南伊豆事業本部の指揮命令系統をそれぞれ明らかにすること。
- (5) 組織再編により、社員の働き方がどのように向上されるのか明らかにすること。
- (6) 「各事業本部が自律的なマネジメントを推進する」とはどのようなことなのか明らかにすること。

2. 事業本部のコンセプトについて

- (1) 横浜支社における事業本部のコンセプトに『融合と連携を加速する』これまで以上のスピード感で地域密着の事業運営を行う。」としているが、どのように現行と変わるのか明らかにすること。

3. 事業本部のエリアについて

- (1) 提案資料の事業本部エリアマップにおいて、各事業本部内の駅が色で分けられている意味を明らかにすること。

4. 事業本部の体制について

- (1) 各事業本部内にある各職場の1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を明らかにすること。
- (2) 横浜事業本部における関係事業本部のサポート業務等とは、なにか明らかにすること。
- (3) 従来の異動や担務変更を含め、全てを「業務内容変更」とした理由を明らかにすること。
- (4) 本体エルダー社員と出向しているエルダー社員は、どこの所属になるのか明らかにすること。

5. 事業本部における新たな働き方

- (1) 駅の泊まり勤務において、遅フレ・早フレ等を組み合わせて一つの勤務とすることはあるのか明らかにすること。
- (2) フレックスタイム制適用社員の JINJRE(勤務)上、勤務表記はどのように示されるのか明らかにすること。

疑問・不安をなくし、働きやすい施策をつくりだしていこう！！